

2019年7月8日

鹿児島大学病院 脳神経外科 で
先端巨大症 の治療を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

成長ホルモン産生下垂体腺腫の各種負荷試験への反応性と組織像、体細胞遺伝子変異、臨床像との相関に関する研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科
助教 藤尾信吾

【研究の目的】

成長ホルモン(GH)産生腺腫の腺腫細胞は TRH や LHRH などの負荷試験に対して、正常下垂体の GH 産生細胞とは異なった反応(奇異反応)を示すことがあります。本研究は、この特異反応を有する腫瘍、中でも TRH 負荷試験と経口糖負荷試験(OGTT)の両者に奇異反応を示すいわゆるスーパーレスポonderにおける病理組織像、臨床像、体細胞遺伝子変異の特徴を明らかにし、将来における、このサブタイプに対する新しい治療方法の開発につなげることを目的としています。

【研究の方法】

既実施された検査結果や臨床情報を診療録から抽出します。また既に摘出術された腫瘍組織から遺伝子を抽出し、臨床データと遺伝子変異との相関関係を検討させていただきます。
手術後の生存期間と画像情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【対象となる患者さん】

2005年10月1日から2019年4月30日までに、鹿児島大学病院脳神経外科で成長ホルモン産生腺腫と診断され、摘出手術を受けた患者さんを対象にしています。なお、広島大学脳神経外科の患者さんと併せてデータの解析を行います。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

患者さんの症状や臨床データ、画像および検査データなどを参照させていただきます。これらの情報は山畑仁志（講師・脳神経外科）が責任を持って管理します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する情報は、当院並びに広島大学脳神経外科の診療情報から、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野の研究費（用途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

助教 藤尾信吾

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041